

原子力防災 通信 9

いざという時のために…



この情報誌では、富山県の原子力防災に対する取組みをご紹介します。

屋内退避の実施方法等を紹介する動画を作成しました。

このたび、原子力災害発生時における屋内退避の実施方法やポイントを分かりやすく紹介する動画を新たに作成しました。

防災・危機管理課のホームページでご覧いただけます。

アクセスはこちら↓

URL : http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1004/kj00022768.html

または



昨年度の原子力防災訓練の記録動画を作成しました。

令和元年11月4日と11月17日に行われた、令和元年度富山県原子力防災訓練（図上訓練及び実動訓練）のダイジェスト映像を県防災・危機管理課のホームページでご覧いただけます。

アクセスはこちら↓

URL : http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1004/kj00021779.html

令和元年度富山県原子力防災訓練

検索

または



関係機関と連携した
災害対策本部の設置運営訓練



医師による
安定ヨウ素剤の説明



放水による
車両の簡易除染

富山県 総合政策局 防災・危機管理課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁本館2階

TEL:076-444-9670 FAX:076-444-3489

令和2年10月発行

氷見運動公園での原子力災害時避難円滑化モデル実証事業を推進しています

県と氷見市では、万一原子力災害が発生した際、住民の皆様の避難ができる限り円滑なものとなるよう、国の原子力災害時避難円滑化モデル実証事業の採択を受け、避難退域時検査場所候補地である氷見運動公園における検査能力向上のための工事を実施することとしています。工事期間中はご不便をおかけいたしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概要

- 事業区域
氷見運動公園及び
氷見市道環状南線等
- 事業年度
令和元年度～令和3年度(3年間)
- 内容
 - 交通誘導対策の強化等
住民等を氷見運動公園へ円滑に誘導するための仮設案内板や誘導用の資機材を整備します。
 - 氷見運動公園内の検査導線の円滑化
公園内の検査導線を効率的なものとするため、自家用車やバス等の検査用に公園内の一部を舗装します。
 - 避難道路の冠水対策
大雨の際の避難車両の通行確保のため、氷見運動公園に隣接する市道環状南線のかさ上げを行います。

原子力災害時避難円滑化モデル実証事業とは

国(内閣府)が平成30年度から3年間限定で新規採択する事業であり、万一の原子力災害発生に備えるため、住民等の円滑な避難又は一時移転を確保するための交通誘導対策の強化や避難経路上の改善などの取り組みについて、国が事業費の全額の支援を行うものです。

県では、氷見市と協議のうえ、氷見運動公園及び氷見市道環状南線等における事業の実施を国へ要望し、令和元年度に事業採択を受けました。



円滑化のポイント②

公園の一部を舗装し、車両の検査会場を整備することにより、当公園での検査車両の導線を一筆書きとすることができ、円滑な検査体制構築につなげます。

円滑化のポイント①

主要な交差点等に配置するための案内看板等を整備し、住民等の氷見運動公園への円滑な誘導につなげます。

円滑化のポイント③

検査後の避難経路となる氷見市道環状南線について、大雨の際に冠水する部分のかさ上げを行うことで、避難経路の確保につなげます。

氷見運動公園内の検査導線の円滑化

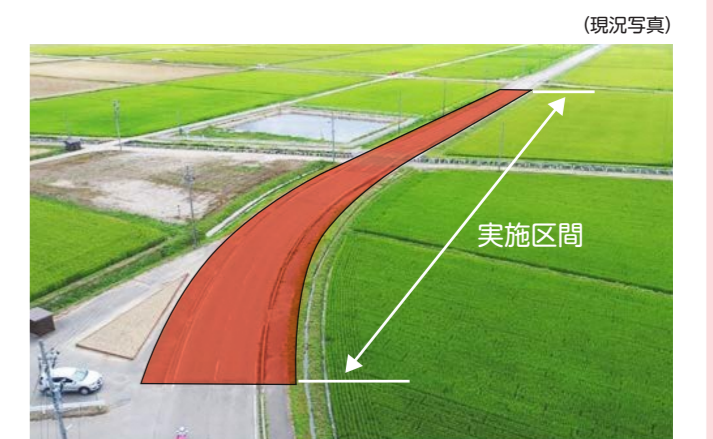
自家用車やバス等の大型車両の検査を行うための検査会場として、公園内の一部を舗装します。
実施者：氷見市(都市計画課)
実施箇所：舗装面積 約10,000㎡
工事期間：令和3年4月～9月(予定)



(現況写真)

避難道路の冠水対策

大雨の際の避難車両の通行確保のため、氷見運動公園に隣接する市道環状南線のかさ上げを行います。
実施者：氷見市(道路課)
実施区間：延長 約270m
工事期間：令和2年10月～令和3年3月(予定)



(現況写真)